



24TH FAPA CONGRESS 2012
Bali, 13-16 September 2012
Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia

5年生 五十幡 陽(左)
埼玉県 東京農業大学第三高等学校 出身

5年生 河邊 伊万里(右)
千葉県 県立柏中央高等学校 出身

本日はこの夏に、海外研修に参加した5年生にお話を伺いました。

「FAPA」に参加しようと思ったのは？

河邊) 実は私、これまでに海外に行ったことがなかったんです(笑) 2年生の時の、「薬学外国語講読」の授業に興味を持って、せっかくの大学生活の間に、一度は海外にチャレンジしたいなあ~と思っていて。ちょうどその頃、昨年卒業された井原奈津美さんのFAPAに参加した際の報告会を聞いて、「これだっ！」って思って、2年間ずっと狙ってました(笑)
五十幡) 私は、高校時代にオーストラリアにホームステイした経験があって。海外にはずっと興味があったんですが、なかなかタイミングが合わずに……。でも、この研修はちょうどタイミングがよくって(笑)

研修とは言っても、「国際学会」にいきなり参加に、バリアーは感じませんでしたか？

河邊) 最初は恥ずかしながら、学会発表の内容も「みんな」で作り上げていけば大丈夫だろうなって、他力本願な自分がいました。英語も、自分なりに勉強

強していたので、海外研修や学会発表といった「バリアー」とかは、あんまり感じませんでした。
五十幡) 私は「学会への参加」ということよりも、「海外に行きたい」という気持ちの方が強かったから……なんとか準備を頑張ることができました(笑)
河邊) でも……行く前と、行ってからで、ホント気持ちが180度変わっちゃいました(笑)
五十幡) そうそう。ホントびっくりだったよね。だって、「英語でのコミュニケーション」が思うようにいかないんだもん！(涙)
河邊) 正直、過信していたというか……。英会話の準備も自分なりにしてはいたつもりだったから……。五十幡) でも、最初にバリアーを感じられて良かったと……今では思える自分がいます。だって、最初にショックを受けたおかげで、後半は「自分からコミュニケーションとらなきゃ」って思えたわけだし、自分でも頑張れたかなって思えるから。河邊) 陽ちゃんはホントにポジティブで助かったよ。学会はポスター発表だったけど、現地で知り合った海外の学生や日本の学生が見に来てくれて……。少しは専門

的なディスカッションも出来て、嬉しかったなあ。

* *Expectation and reality of pharmacy practice training for sixth year pharmacy students.* というタイトルで、6年制薬学教育における実務実習について、実際に実習を行った6年生とこれから実習予定の5年生を対象とした比較調査の結果を発表しました。

河邊) でも今だから言えるけど、本当に今回の海外研修中は辛かったんだ、私。

五十幡) えっ？そんな風には見えなかったけど……。河邊) 本当にショックだったんだ。自分の英語力って、こんなもんならだ。あの時、「もう少し、英語頑張らなきゃ」……なんて前向きな気力すら失ってたんだ。

五十幡) でも、最後まで頑張っていたじゃん。私だって、何度か(心が)折れそうになったけど、「このままじゃ、終われない！」って気持ちで頑張れたのは、伊万里がいたからだよ。帰国してからだって、やっぱり「英語でのコミュニケーションってこれからは薬剤師としても必要な」って、改めて思えるし、だからもっと「英語頑張ろう！」って。

河邊) そうだよ。……でも、帰国した今でも、「やっぱり、日本はいいな」って思ってしまう自分がいるんだよね(笑)

五十幡) 卒業研究でも、いっぱい英語の論文読まなきゃいけないし、今回の経験はいろんな意味でいいきっかけになったと思います。

河邊) でも、経験という意味ではホントに今回参加して良かったと思います。自分自身を見つめ直す機会にもなったし……。自分自身を客観的に見つめることができたから、これからの自分の進む道を真剣に考えなきゃなって気にもなれたしね！

2012 Petra Christian University Asia Summer Program
16 July - 3 August 2012

5年生 牛尾 香穂里(左)
千葉県 和洋国府台女子高等学校 出身
5年生 中村 友美(右)
神奈川県 関東学院高等学校 出身

「ASP」は、どんな研修だったのですか？

中村) 5カ国から学生が集まって、個々人で9つの用意されたプログラムのうち2つを選択して、3週間、授業を受けることがメインプログラムでした。
牛尾) 午前、午後それぞれ3時間程度の授業だったんですけど……。グループディスカッションやプレゼンテーションなんかもある……もちろん全ての会話は英語だから、ちょっと大変でした。
中村) 私は、去年大学のUCR研修(米国薬学研修)にも参加したんですけど、UCRは「医療」に特化した研修でしたが、今回の「ASP」は学際的総合プログラムって言うのか、ふだん大学ではなかなか取組まないテーマでの研修だったから、新鮮でした。
牛尾) 私たちが専攻したセッションは、「Sustainable and Green Materials」と「Creative Business Development: Surabaya Flavor」だったもんね。

中村) 最近話題の、持続可能なクリーンエネルギーとエコロジーに関するものと、新規ビジネスについて。ホント、これまで日本ではほとんど考えたことがないテーマだったね。
牛尾) でも、だから新鮮だったね。それぞれの国から来ている学生の国民性って言うのか、特徴もすごくあったしね。
中村) でも、日本人ってホント消極的だなんて感じちゃった。かくいう私もそうなんだけど……。牛尾) ホント、みんなすごく積極的だよ。って言うか、「信念」を持ってると感じましたよね。
中村) インドネシアの学生は、ホストってこともあったのかもしれないけど、本当にホスピタリティの精神がすごかった。私たちが、語学で困っていると、必ず最初に手を貸してくれるんだもん。私たちは今、医療を学んでいるけど、私たちが受けた様な対応を患者さんたちへもしなきゃいけないんだなあ~って考えちゃった。

研修で、新たな自分に出会えましたか？

牛尾) 私は、本当に「変わった」気がします。
中村) だって、出発前の決意はすごかったもんね。
牛尾) うん。実は私は、出発直前に両親にこの研修に参加すること、すごく止められたんです。ちょうど5月から6月にかけて治安情勢が悪かった時期だったから……。でも、「どうしても行きたい」って両親を説得して。これまでに私がこんなに懸命に両親に自分の意思を表示したことなんてなかったから。
中村) 私は……こういう言い方が適切かどうかかわかんないけど、将来、海外で暮らしたいなって気持ちが強くなったかな。「薬剤師」としてでなくてもいいからって。もちろん、これから実習も、国家試験に向けての勉強もすっかりやるつもりだし、就職は薬剤師としてしっかりするつもりだけ……。牛尾) そういった意味では、この研修では地元の薬局には何度も足を向けたけど、「医療現場」の研修ってなかったのは残念だったよね。
中村) うん。この研修に参加して、で改めて「自分の目標」がぼんやりしてるんだなって思っちゃった。

繰り返しになるけど、海外の学生たちって「芯があって、強いな」って。「私も、そうなりたい」って思うと、「何かにチャレンジしなきゃ」ってすごく感じたんだ。

牛尾) で、海外で生活？(笑)
中村) おかしいかなあ~？ 非現実的って思ってるでしょ(笑)
牛尾) まだ、先のことだしね。ただ、目標を持つってことはいいことなんじゃないのかなあ？その時、その時でやらなきゃいけないことや、やってみたいこと、やれることっていろいろあると思うしね。ただ、今は薬学生としていろいろな経験積んで、いろんな社会を感じるって、とても大事だよ。
中村) だから、この研修には参加して本当に良かったと思ってる(笑)

最後に在学生メッセージを

五十幡) 海外に行けるチャンスがあれば、どんどんチャレンジして欲しいな。「行ってみて、初めて感じる」っていっぱいあると思うから。機会があれば、また国際学会にも参加してみたいと思います！
河邊) 私は、……国際的感覚って大事だと思うけど、海外に行くことだけが全てではないと思います。日本にいても、できることってたくさんあると思うから。ただ、何事にも向き合うってことはすごく大事！
牛尾) 海外研修は、絶対参加した方がいい！できれば、1~4年までの間に1度経験することをオススメします！そして、できればその後ももう一度。成長していることをすごく実感できると思うからね。プライベートの旅行もいっしょに「研修」で行けば、「逃げられない」こともあるし、強くなれるよ！
中村) 私は今、改めて「留学」したいって気持ちでいっぱい。こんな気持ちになれたのも、研修を通じていろいろな仲間に出会えたからかな？「新しい自分」を見つけられる機会って、なかなかないと思うから。チャンスがあれば、海外研修に参加してみてください！

城西国際大学の6年制薬学教育



「遠くの大病院よりも、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。



INTERNATIONAL EXCHANGES IN INDONESIA

薬学国際教育



2012 Petra Christian University
Asia Summer Program
16 July - 3 August 2012 <http://bakp.petra.ac.id/asp/index.html>



24TH FAPA CONGRESS 2012

Bali, 13-16 September 2012

Bali Nusa Dua Convention Center, Indonesia <http://www.fapa2012.com/>



Asia Summer Program 2012 : 2012年7月16日～8月3日の3週間、インドネシアのPetra Christian大学にて開催され、薬学部から2名の学生が参加しました。このプログラムは、城西大学・城西国際大学(日本)、Donguseo大学(韓国)、Bangkok大学(タイ)、Malaysia Perlis大学(マレーシア)、Petra Christian大学(インドネシア)の5カ国の大学生が、国際交流を目的として3週間の学際的総合研修プログラムを受講しました。

24th FAPA CONGRESS 2012 (The Federation of Asian Pharmaceutical Associations) : 2年に1度開催される、アジア薬剤師会連合大会で、本年度は24回大会がインドネシアのバリ島で7月13～16日に開催されました。本学5年生2名と大学院生1名が発表しました。

姉妹校 University of California, Riverside (USA) での研修に参加しよう！UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2013 (2013年2月～3月予定)

2013年度生 募集 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試・広報センター TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp <http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>